


2月末組織人数
5,231人

岩手県連ホームページに
アクセス出来ます。 → 

建 労 い わ て 月 刊 号

発行所
岩手県建設労働組合連合会
教 宣 部
盛岡市本宮一丁目7番27号
電話 019-631-3280
FAX 019-635-4015
発行者 宮本勝吉

活躍に期待が高まる

盛岡建労青年部定期総会

盛岡建設労働組合青年部（盛岡建労青年部）は、2月24日（日）に盛岡市「ホテルルイズ」で第50回青年部定期総会を開催した。出席者には、盛岡建労青年部に対する期待と激励を感じさせる質疑応答になり、総会では青年部役員改選が行われ、6人の歴代青年部長がステージに登壇。当時の青年部活

動や青年部への思いを口々にお話しして頂き、出席者に50年の歴史を伝える機会を設けました。今回の総会は50回目の総会を記念して盛大に開催したいという強い思いを青年部OB、青年部員の力を集結して実現させました。新体制になりますます盛り上がりを見せる盛岡建労青年部、これからの活躍に期待が高まります。



6人の歴代盛岡建労青年部長も参加されました

◆季節から総会やこれに伴う役員改選、組合員の加入、脱退、労働保険の手続き、保険証交換等と続きそうだが体には十分気を付けて、元気に平成から新たな時代に進みたいものだ。
追伸 県南の桜が咲くのは早いのではないかと感じる。
【教宣部 小野寺 春男】



左から外川さん、伊東さん、小田切さん、小山さん

岩手県連では東日本大震災の後に、県連・組合主催の住宅デーが開催された時に「ミニ上棟式」を行ってききました。この上棟式で使用する組立て木材（上棟キット）を約7、8年使用し続けた結果、つなぎ目がゆるくなるなどの劣化が見られ、これを受け、新たに上棟キットを製作する事となりました。そこで、矢巾町にある岩手県立産業技術短期大学校（産技短）の指導員（講師）と県連執行委員がつながりがあり、経緯を説明。すると産技

短の建築科の生徒に卒業製作として作って頂く事になりました。卒業製作を引き受けてくれたのは建築科2年の外川悠人さん、小田切剛さん、伊東笙（しやう）さん、小山萌（めぐみ）さんの4人。この学校（建築科）を選択した理由を4人に聞きまし

建設業の未来を担う4人に今後の目標を聞くと「早く仕事を覚えたい。ゆくゆくは自分の家を建てたい」と決意と夢を話してくれました。卒業後の進路については、1人が進学、2人が県内・県外で現場監督として、最後の1人は地元で大工として就職するそうです。県連では製作して頂いたこの上棟キットを今後の住宅デーやイベントで使用して行きます。

上棟キット新たに 未来を担う4人が製作

【県連 鈴木（章）記】

建設業の未来を担う4人に今後の目標を聞くと「早く仕事を覚えたい。ゆくゆくは自分の家を建てたい」と決意と夢を話してくれました。卒業後の進路については、1人が進学、2人が県内・県外で現場監督として、最後の1人は地元で大工として就職するそうです。県連では製作して頂いたこの上棟キットを今後の住宅デーやイベントで使用して行きます。

◆お茶を飲みながら外を見るとき、今日も桜の老木の小枝にスズメやムクドリが20羽位止まっている。我が家には、物置のかげとグミの木の下近くに小鳥用のエサ台がある。冬の間、クズ米などのエサを置いておくとキレイに食べていく様だ。そろそろ20年近くになるので「つづら」でも持つてこないかと孫と話している。
◆先日、20日前に手術をしたと言っている人が現場で会ったが、元氣な姿に驚いた。この方は組合の集団健診で「要精密検査」になり、病院に行きこの結果になったそう。早期発見が幸いしたのではないかと。今は万が一ではなく、2人に1人がガンになる時代だ。私達組合員の仲間の大多数の方々が昭和生まれの人達で、まさに「ガン年齢」の年に入り病気の確率が高くなった。これからは食生活に注意し、健康診断や健康教室等に時間を取って、スロウワークに過こしてほしいと思う。

きずな